

令和 7 年 9 月 市長定例記者会見

日時：令和 7 年 8 月 1 9 日（火） 11:00～11:30

場所：庁議室

本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

それでは、令和 7 年 9 月定例記者会見を始めます。

はじめに、先日の五所川原立佞武多について、開催期間中はあいにくの雨模様の中での運行となった日もありましたが、おかげさまで大きなトラブルもなく祭りを終えることができました。報道機関の皆様には、様々な媒体で報じていただいたことに感謝申し上げます。

また、本日の会見の案件にもなっておりますが、当市では、これから秋にかけてたくさんの行事が予定されております。

特に、地域資源を生かしながら、市内外から人を呼び込んで地域を元気にしようという意識のもとで、様々な団体が協力して実施するイベントなどについては、市も積極的にバックアップしながら盛り上げていきたいと考えておりますので、お時間がございましたら、取材等のご対応をよろしくお願いいたします。

それでは、本日の案件の 1 つ目「マリINFESTIVAL」についてご案内します。

8 月 3 0 日（土）午前 1 0 時から、新十三漁港を会場として「2025 五所川原市マリINFESTIVAL」を開催します。近年、子どもたちが海で楽しむ機会が減少しておりますが、自然に恵まれた市浦の地で、カヌー、SUP、バナナボート等を体験していただき、海洋レジャーの魅

力を存分に感じていただくとともに、海への関心・好奇心を喚起することを目的として実施する、新しい試みとなります。

当日は、キッチンカーも出店しますので、多くの方々にご来場いただき、市浦地域の豊かな自然などを堪能いただきたいと思います。

なお、悪天候等で開催不可能な場合は、翌日に開催し、両日とも開催出来ない場合には中止となります。

続いて、案件の2つ目「経済イベント」についてお知らせします。

9月6日（土）午後3時から、津軽三味線会館屋外ステージにおいて、「仁太坊祭り」が開催されます。

当日は、午後6時から、津軽三味線の始祖・仁太坊を偲び、また、津軽三味線全日本金木大会成績上位者が演奏を披露するエキシビションが開催され、会場では仁太坊そばや金木商工会青年部によるビアガーデンのほか、今年は、産直メロス出荷者による市産品を活用した飲食物が提供されるなど、グルメコーナーも充実しておりますので、たくさんの方にご来場いただければと思います。

また、翌日の9月7日（日）午前10時から、中の島ブリッジパークにおいて「十三湖超しじみフェス 2025」が開催されます。

2回目の開催となるこのイベントは、当市特産品の「十三湖産大和しじみ」が最大5キロ採れる「超しじみ拾い」のほか、しじみラーメンなどのしじみグルメや無料のSUP体験も楽しめます。

5キロも「しじみ」を採れるのはこの日だけとなっておりますので、十三湖をまるごと楽しんでいただきたいと思います。

このほか、市内ではお手元の資料のとおり各種イベントが開催されますので、皆様のご来場をお待ちしております。

次に、案件の3つ目「認知症フォーラム」についてお知らせします。

開催日は、9月27日（土）午前11時30分から、場所はオルテンシアとなっております、平成26年の開始以来、今年で12年目を迎えます。

市では今年、「認知症の人とともに生きるまちづくり条例」を制定し、認知症の方が希望をもって自分らしく暮らし続けられるよう色々な施策に取り組んでおり、今年のフォーラムのテーマも「認知症とともに生きていく」と題し、多くの方に認知症について理解を深めていただき、認知症の方やその家族の方が安心して暮らしやすい地域づくりを進めていきたいと思っております。

お手元のパンフレットにありますとおり、当日は講演やシンポジウム、寸劇を通して認知症についてわかりやすく学んでいただきます。

また、津軽伝統人形芝居の金多豆蔵（きんたまめじょ）さん

による認知症を題材にした人形劇も予定していますので、参加を希望される方は、市役所地域包括支援課までお申し込みください。たくさんの方のご来場をお待ちしております。

最後に、「チャレンジドムービー&ミュージックフェスティバル」についてお知らせします。

この取組は、^{かくたけんゆう}角田憲勇氏が代表を務める特定非営利活動団体「ともに生きる会このゆびとまれ」が中心となり、10月4日（土）に実施します。

第1部は、市が委託する「五所川原市障害者理解促進研修・啓発事業」として実施し、午前10時から金木総合支所において障がいに関する講話や映像の上映、障がい者団体を紹介するパネル展示を行います。

また、正午からは、団体が主催する第2部として、金木駅前において音楽イベントが予定されており、障がいのある人が情報を発信する機会を創出し、障がいへの理解を深めるための啓発として実施するものとなりますので、取材等、よろしくお願いいたします。

以上となりますが、記者の皆様には、当市の情報発信へのご協力を

よろしくお願いします。